

令和4年度 つかわき便り

令和4年10月29日発行

ゆうらくせん 遊樂船10月号



施設長 福永政和

秋晴れにコスモスの花が映える季節、いかがお過ごしでしょうか。

さて、10月は20名の利用者の方々に3年ぶりの県外旅行を楽しんできました。出発前からわくわくしている様子や嬉しそうにお土産を配ったり、旅の思い出を語られたりする様子をみると嬉しくなります。日頃から「働く」「遊ぶ」「楽しむ」「笑う」を大切にしたいと考えておりますが、やはり、旅での買い物や外食、散策は利用者の皆さんにとって、一番の楽しみのようです。今回、旅先のハウステンボスではハロウィン前とあって期間限定の飾りや催しなど、楽しませてもらったようです。

ところで、秋の風物詩となっているハロウィン（10月31日）は、紀元前にケルト人が行っていた収穫祝い・悪魔払いの祭りに由来するそうです。アメリカへ伝わったこの祭を子どもが大変怖がったため、子どもも楽しめる行事へと変化し、この日にやってくる悪魔や魔女から身を守るために仮面をかぶったり、悪霊や魔女の恰好をして仲間にみせかけたりしたのが、仮装の始まりのようです。また、悪霊が怖がって逃げるよう、カボチャをくり抜いて作るランタンを玄関や窓辺に灯してこの日を迎えます。

ここつかわきでもサツマイモや米、菊芋の収穫が終わりました。秋の収穫はこれから一年の私たちの健康を支える穀物への感謝でもあります。悪魔（コロナ）を払いながら、これからもいっぱい食べて、いっぱい笑って過ごせるといいですね。

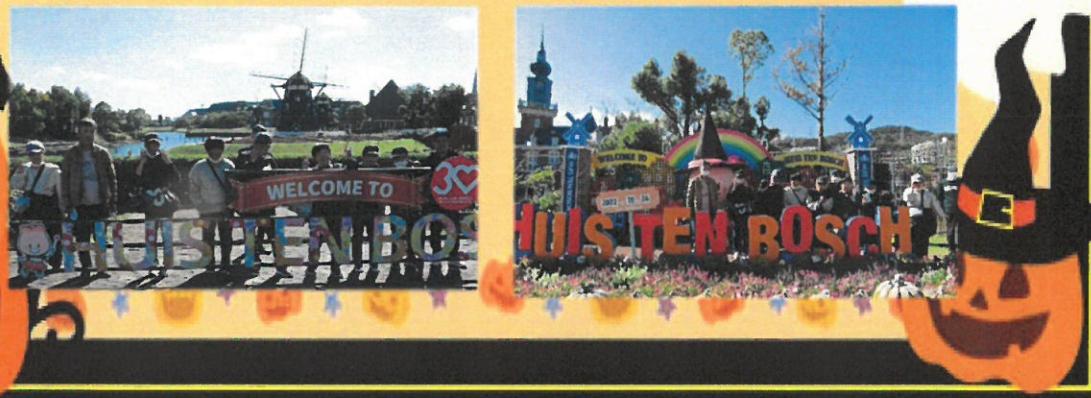
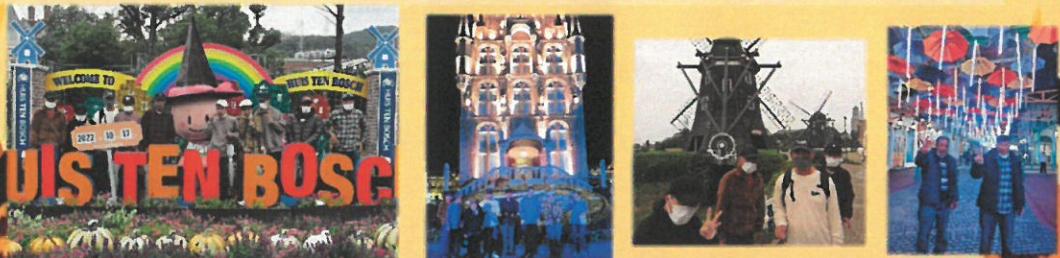
実りの秋、皆さんで力を合わせて！

たいよう班で育てたサツマイモが今年は昨年以上の出来映えでした。他の班の利用者さんも手伝いながら収穫と選別を頑張りました。また、黄金色に実った米の収穫にも協力して汗を流しました。



3年ぶりの旅行：ハウステンボス

10月17日(月)～18(火)、24日(月)～25日(火)、2つの班、20名が長崎県のハウステンボスへ出かけ、久しぶりの県外旅行を満喫しました。ヨーロッパにいるような建物や景色の中で、咲きほこる花々や夜のイルミネーション、花と光に感動しながら、ちょうどハロウィンの催しも盛大に開催されており、アトラクションも楽しみました。思い出の旅となりました。



自治会主催 10月の誕生会

HAPPY BIRTHDAY

10月生まれの利用者の誕生日を皆さんでお祝いしました。今月は最も多く10人もいらっしゃいます。上村隆さん、田代浩規さん、末廣光さん、佐藤稔さん、宮永史子さん、玉利博成さん、柳貴康さん、坂元裕美さん、赤岩和也さん、堀尾文子さんです。プレゼントを嬉しそうに受け取って喜ばれています。益々お元気で過ごしてほしいと思います。また、入院中の宮永さんは少しずつ元気を取り戻していらっしゃるようです。

